

連通管、パスカルの「鼻」の構成と応用

連通管（れんつうかん）
とは、液体を入れる2つ以上の容器の底を
液体が流通できるように
連結した管である。

連通管構成の濾過

Final/ Frontier Osmosis Filtration)

究極の開拓的浸透濾過

分画粒度

$$v \cdot 400 = D^2$$

線速度 $v=Q/S$ (m/h) の管理

加えて

1. 管の液面上の気相が大気圧に開放する通気管をパスカルの「鼻」と呼ぶ 101020 特許ビジネス市
2. 鼻1を設けると、旋回流がすり鉢状にならず薄層維持 特許4495918の権利会社は2018年に解散 **薄層旋回流の剪断選別効果**は公開
3. 特許6666176に記載の鼻2を設けると、ポンプ回路の圧力変化、温度変化、光合成、諸化学反応、トリチウム水素の核崩壊で生じるヘリウムガス、等で生じる気体を液体から効果的に分離回収できる。
4. 2016年 4月 HP掲載 室内鑑賞水槽で長期観察

公開実証例

2025年 9月 大阪市御幣島 西栄寺本堂前池で開始

1. 2011年 加古川市の40万t貯水の寺田池で2年余
2. 2010年 尼崎市労働福祉会館前の庭池で2年余
3. 2005年 尼崎市の鉄鋼団地の1t貯水の庭池で2年余
4. 2005年 尼崎市のU氏宅の100ℓ貯水の庭池で16年
5. 2003年 京都市東山長楽寺の銘庭園池の水循環2年余